

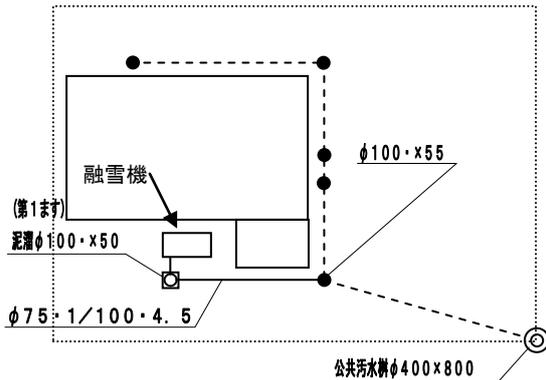
## 融雪施設に係わる確認申請書図面の作成例

確認申請図書の作成例として、①合流式区域における私設ます・公共污水ます、②分流式区域における私設宅地雨水ます・公共宅地雨水ますの接続の例を示します。

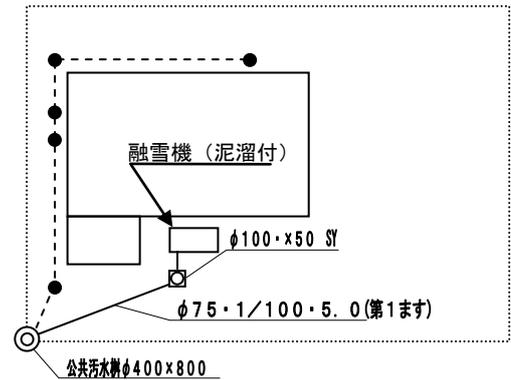
- ・作図は黒のボールペン等で記入してください。
- ・管径、勾配、距離、ますの内径深さを明記してください。
- ・融雪施設本体が泥溜構造になっている場合は、「泥溜付」と明記してください。

### 1. 合流式区域

(a) 私設宅地ますに接続の場合

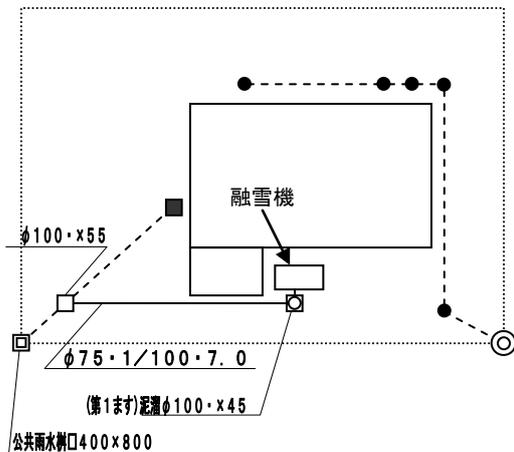


(b) 公共污水ますに接続の場合

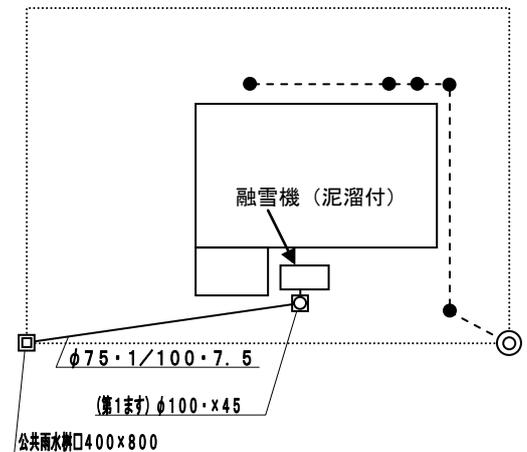


### 2. 分流式区域

(a) 私設宅地雨水ますに接続の場合



(b) 公共宅地雨水ますに接続の場合



#### 注意事項

- ※ 融雪施設本体に泥溜機能（深さ15cm以上で清掃が可能）を有しない機器の場合は、第1ますに泥溜構造のますを設置してください。
- ※ 融雪器並びに融雪槽の場合に、分流式区域であって排水先のます（公共宅地雨水ます、私設宅地雨水ます）が泥溜構造となっている場合は、直に接続することができる。
- ※ 排水管を設置する場合に、屈曲部や合流部、管径が変わるところではますを設置してください。
- ※ 融雪施設本体は、器具扱いとし、第1ます以降の配管口径は $\phi 75\text{mm}$ 以上で、勾配は100分の1以上とすること。
- ※ 平面図記載の詳細については、確認申請書の内面記載の注意事項を参照すること。